

テーマ (どちらかの数字を^いで囲んでください)

- 1.身近なはたらく人へ、ありがとう
- 2.あこがれの仕事、かなえない夢

1/3 まいめ

ぼくのヒーロー

五年 丘山 瑛太

ぼくは十月月の時にやけどをして、高度救命救急センターに運ばれました。

お風呂上がりのぼくは、キッズの柵の前にいました。目の前には頭上にぶら下がる電気なぐのコード。そのとき思いつきり背伸びをしましたことで、初めてコードに手が届いてしまい、熱湯とともにカウンターから、なぐが落ちてきました。

「ギャー」とぼくが泣きぎけんだので、お母さんが「瑛太」と泣きながら冷やして、救急車を呼んで病院に運ばれました。

上半身のやけどは逃れたけど、やけどの深さは、最も重いⅢ度、範囲も30%を超える重症でした。それだけでも大変なやけどなのに、毒素を作り出す菌に感染して、熱は40度まで上がって、人工呼吸器や血液を入れ替えるための機械、輸血や注射のポンプがいっぱいあって、家族も近づくことができなくて

テーマ (どちらかの数字を○で囲んでください)

- 1. 身近なはたらく人へ、ありがとう
- 2. あこがれの仕事、かなえない夢

とてもつらかった。とあとで聞きました。生死をさまよう中、もっとう専門的な治療を受けるために、東京の病院から二人の先生が来てくれ、ぼくの小児救命救急の先生と三人でドクターヘリで東京の病院に転院しました。その病院には、小児救急専門の先生がたくさんいて、ぼくの命は、助けられたのです。前の病院に、無事に移ることができ、やけどの治療をしてくれていたもう一人のヒーローに皮心移植を二度受けました。

二人のヒーローは、「危険な状態だったけど何とか乗り越えてくれて本当に良かった。」と話してくれました。他にもたくさんの方が、ぼくのために一生懸命してくれました。ことごとく感謝しています。その人達がいなかったら命を落としていたかもしれません。ぼくがしっかり生きていかないと、助けてくれたたくさんの人に恩返しができなくなる。

テーマ (どちらかの数字を[○]で囲んでください)

- 1.身近なはたらく人へ、ありがとう
- 2.あこがれの仕事、かなえない夢

のは、とてもくやしいです。

今も足には、やけどの跡が大きく残っています。母が、

「みなさんに助けられた命、強く言わないで生きてほしい。」

と、足をかくさずに育ててくれました。

頑張った強さの印です。

ぼくは、ぼくを救ってくれた二人のヒーロー

のように、たくさんの人を助ける、救命救

急医になりたいと考えていて、勉強や運

動などを頑張っています。

簡単になれることではないと思っだけれど、

人の笑顔がたくさん見たいので頑張りたいで

す。そして一番の夢は、今もぼくを見守って

くれている二人のヒーローに、

「先生、医学部に合格しました。」

と、報告に行くことです。

先生はいまも、命を救う最後のとりでで活

躍しています。